

第 6 学 年 道 徳 科 学 習 指 導 案

6 年 1 組 指 導 者 森 重 孝 介

主 題 相 手 の 立 場 に 立 つ

1 本主題で子どもが創出と受容、転移を行う各教科等の本質（見方・考え方）

相手の立場に立って親切にするために大切なこと

2 本主題で、各教科等の本質（見方・考え方）の創出と受容、転移を行っている子どもの姿

本学級の子どもたちは、身近にいる人や近隣社会で交わっている人たちへの親切の在り方や思いやりの心について考える学習に取り組んできた。このような子どもたちが、「親切、思いやり」の内容項目の教材を基に、誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にするために大切なこととは何か考える学習に取り組む。このことは、相手の立場に立って親切にしよう（転移）とする態度を培うであろう。

本主題は、内容項目「親切、思いやり」を基にした「おばあちゃんの指定席」を教材として、相手の立場に立って親切にすることについて考える（創出）学習である。子どもたちは、教材の人物の行為や思いについて仲間と話し合いながら、相手の立場に立って親切にするために大切なことについて考えていく（受容）であろう。その際、相手の立場に立って親切にしているかどうか、今の自分と比べながら考えることを大切にしたい。そうすることで、今の自分を見つめ、相手の立場に立って親切にしよう（転移）とする態度を培うと考えるからである。

そこで、以下のような支援を具体化し、本主題でめざす子どもの姿の実現を図る。

- 範読前に「ゆうこさんは相手の立場に立って親切にする人ですか」と授業のテーマに沿った視点を基に読むよう促す。そうすることで、相手の立場に立った教材の人物の親切な行動に気付くことができるようにする【創】
- 相手の立場に立って親切にするために大切なことは何か話し合うよう促し、発言の中で自分が最も大切にしたいことや今の自分がどうであるかを問う。そうすることで、大切にしたいことと今の自分とを比べて考えることができるようにする。【受】
- 授業の終末には、自分が大切にしたいことや今後の生活にどう生かしていくか、学習を振り返る場を設ける。そうすることで、相手の立場に立って親切にするために大切なこととこれからの自分の生き方とを関連付けて考えることができるようにする。【転】

3 本主題における評価の視点



多面的・多角的に考える姿	自分自身とのかかわりで考える姿
相手の立場に立って親切にする人物の思いについて話し合う	相手の立場に立って親切にするために大切なことを今の自分を見つめて考えている。

4 本時案 【令和2年11月19日 10:20～11:05 6年1組教室】

- (1) ねらい 相手の立場に立って親切にする人物の思いについて話し合うことをとおして、相手と自分を重ねて考えることの大切に気付き、相手の立場に立って親切にしようとする態度を培う。

(2) 学習過程

学習活動・学習内容	子どもの意識	○教師の支援
-----------	--------	--------

<p>1 親切にする人間について考える。(8分)</p> <p>・親切への思い</p>	<p>・相手の立場に立って親切にする人かどうか、今の自分を10点満点で考えるのか。</p> <p>A 僕は8だよ。思いやりがあるからね。</p> <p>・私は4かな。少し自信がないな。</p>	<p>○ 範読前に「ゆうこさんは相手の立場に立って親切にする人ですか」と授業のテーマに沿った視点を基に読むよう促す。そうすることで、相手の立場に立った教材の人物の親切な行動に気付くことができるようにする。【創】</p>
<p>相手の立場に立って親切にするために大切なことって何だろうか</p>		
<p>ゆうこさんは相手の立場に立って親切にする人だと思いますか </p>		
<p>2 相手の立場に立って親切にする人について話し合う。(32分)</p> <p>・相手を思いやる心</p> <p>・親切な行為</p> <p>・思いやりの判断</p> <p>・反射的な行動</p> <p>・相手と自分を重ねて考えること</p>	<p>・親切だよ。だって、<u>おばあさんにも知らない男の人にも席を譲ったよ。</u></p> <p>・他の乗客は譲らなかったのにね。</p> <p>・優先席でないのにおばあさんに譲ったのは、お年寄りだから大変と思ったのかな。</p> <p>・おばあさんの指定席を譲ったのは、男の人をかわいそうと思ったからだよ。</p> <p>・約束を破るけれど仕方がないよね。</p> <p>・でも、それって本当に親切な人なのかな。</p> <p>・親切だよ！男の人の足の怪我をみて、じっとしていらなくなったのだよ。</p> <p>B 自分がもし足を怪我していたら…と思ったのではないかな。</p> <p>A 男の人の辛さが分かったから、おばあさんの約束を破ったのか。</p> <p>・他の乗客は見て見ぬふりをしていたかと思うと、ゆうこさんは本当に親切な人だな。</p> <p>・おばあさんに気持ちは伝わったと思うよ。</p>	<p>○ 相手の立場に立って親切にするために大切なことは何か話し合うよう促し、発言の中で自分が最も大切にしたいことがどうであるかを問う。そうすることで、大切にしたいことと今の自分とを比べることができるようにする。【受】</p>
<p>相手の立場に立って親切にするために大切なことって何ですか </p>		
<p>3 学びを振り返る。(5分)</p> <p>・今までの自分</p> <p>・これからの自分</p>	<p>・<u>相手と自分を重ねて考えることだよ。</u></p> <p>・相手がまずどういう状態か考えないと、どんな親切をしようか考えられないよね。</p> <p>A <u>僕は6だよ。今まで相手のことしか考えなかったけど、自分の立場で考えてみるよ。</u></p> <p>・私はまず行動することから始めよう。</p> <p>・今日の学びを生かして、相手の立場でどんな親切ができるか考えていこうよ。</p>	<p>○ 授業の終末には、自分が大切にしたいことや今後の生活にどう生かしていくか、学習を振り返る場を設ける。そうすることで、相手の立場に立って親切にするために大切なこととこれからの自分の生き方とを関連付けて考えることができるようにする。【転】</p>

(3) 板書計画

